

平成 27 年度第 3 回庄原市初任者研修会

平成 27 年 8 月 24 日（月） 庄原市東城自治振興センター 1 階 研修室

「庄原市における教育課題を踏まえ、新任教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養うこと」を目的に、本年度 3 回目の研修会を行いました。

【参加者】教諭（小学校 8 名, 中学校 5 名）、養護教諭 1 名、栄養士 1 名、主事 2 名 計 17 名

【講話・演習①】「教材研究の進め方」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 松田 千秋

教材研究では、学習指導要領解説が示す指導事項を明確にし、付きたい力とその手立てを具体化する。児童生徒の学習意欲の喚起、言語活動の充実、学習の振り返りの工夫など、授業づくりのポイントを意識することが大切である。

《模擬授業より》

課題解決のための話し合いを行う場合、「話し合いの目的、方法、ゴール」を明確にしたペア活動及び全体協議を行うこと。また、全体で深めたことを最終的に個人思考につなげ、まとめを行うことが大切である。



講話 (理論)



模擬授業 (実践)

(参加者の振り返りより)

- ◇模擬授業を通して、言語活動の取り入れ方や児童がどのようなところで興味・関心をもち思考しようとするのかについて気づき、考えることができた。
- ◇振り返りが参考になった。学習の方法を振り返らせるなど、振り返りの視点を与える。
- ◇指導案作成時間では、指導主事に助言をいただき、何週間も悩んでいた点について解決できた。教材研究の時間を設定していただき有意義だった。

【講話②】 「メンタルヘルス研修」

臨床心理士 藤沢 真智

教職員を続けていくために、自分のストレス状況に気づき、日常的、意識的にストレスに対処していくことが大切。ストレスチェックやリラクゼーションも続けるとよい。



(参加者の振り返りより)

- ◇自分がストレスを感じた時の反応を把握し、早めに対処していくことが望ましいことが分かった。ストレスをマネジメントしていく力を付け、健康な心身を保ちたい。
- ◇自分では気付いていないストレス反応があることを知った。疲れを癒す自分なりの方法をたくさん見つけようと思った
- ◇人とのつながりにより、ストレスを軽減できることが分かった。協働することの大切さを感じた。

【講話・演習③】「公務員としての在り方（法令演習）」

庄原市教育委員会 教育指導課長 中重 秋登

教育公務員としての職責を自覚するとともに、法令法規を踏まえたサービス意識をもち、使命感をもって職務を遂行すること。自己の職務遂行の根拠が法令にあることを常に意識すること。



(参加者の振り返りより)

- ◇法令等を見直していく中で、今まで、公務員としての振る舞いができていたか見直すきっかけになった。
- ◇公務員であり、法令に基づいた職務遂行を行わなければならないことを再認識した。普段から法令を学ぶ時間を確保していきたい。
- ◇職務上の義務と身分上の義務についての認識が混同しがちであったため、もう一度確認する。

【施設見学】「東城自治振興センター」



初任者が庄原市を知る機会として、施設の見学を行った。東城自治振興センターは、平成25年3月にリニューアルオープンしており、市民の皆さんが様々な活動を行うことができるように、研修室をはじめ、大ホール、調理室、創作室、体操室、相談ルーム、和室等が整備されていた。地域の小中学校も活用している。

【振り返り・交流】



次の2点について研修の振り返りを各自行い、グループで交流した。(①参考になったこと、②ストレスへの対応)

また、初任者同士、日頃の思いを語り合った。

- ①学んだことを伝え合うことで確かな理解へと高まったり、自分とは異なる感じ方に触れることで考えを深めたりする様子が見られた。
- ②自分なりのストレス解消法について交流した。「寝る、食べる、運動、読書、運転、掃除」等、様々あった。楽しそうに対話する姿から、人と気軽に話すことも解消法の一つだと、改めて感じた。